

第六十五回
帝國議會
貴族院

健康保險法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

昭和九年三月十二日(月曜日)午前十時十分開會

○委員長(伯爵松本宗隆君) 是ヨリ開會イ
タシマス、金岡君ヨリ大臣ノ出席ヲ要求サ
レテ居リマスルカラ、只今大臣ノ御都合ヲ
問ヒ合セ中デスガ、其間他ニ御質疑アレバ、
此際願ヒタイト存ジマス

○金岡又左衛門君 政府委員ニ御尋ネ致シ
マスガ、健康保險法ノ此一點二十錢ト云フ
單價デアリマスガ、是ハ初診ノ場合ハ初診
診察料ト云フモノガ三點ト云フモノヲ見積
ラレテアリマス、再診ノ場合ニハ其診察料
ハナイヤウニ考ヘテ居リマスガ、二十錢ト
云フモノガ、是ハ藥劑料ノミノモノデアッテ
診察料ハ之ニ加味セラレナイ立前ノモノデ
アリマスガ、其邊ハ如何デスカ

○政府委員(川西實三君) 此只今御尋ネノ
一點二十錢ト申シマスル二十錢ト云フ其モ
ノハ、日本醫師會ト契約イタシマスルニ當
リマシテ、一ツノ豫測的ニ想像イタシテ居
リマスル數字ニ過ギナイノデアリマス、ト
申シマスノハ政府ガ健康保險ニ於キマシ
テ、日本醫師會ト療養ノ給付ヲ致シマス場
合ニ契約イタシテ居リマス方法ハ、被保險

者一人ニ付キマシテ一年ニ七圓四十四錢四
厘、詳シク申セバ六毛、斯ウ云フ具體的ノ
金額ヲ以テ其被保險者數ニ掛ケタ金ノ額ヲ
醫師會ニ拂ツテ、其金額ノ範圍内ニ於テ被保
險者カラ申出マス病氣、怪我等ニ對シテ醫
師會ガ診療乃至治療ヲスル、斯ウ云フ立前
ニナッテ居リマス、ソレデ此前モ診療方針ニ
付テ、此席デ社會局長官カラ金杉委員ノ御
尋ニ對シテ御答ガアリマシタ一點十四錢内
外ノ、アノ金額ト申シマスモノハ、詰リサ
ウ云フ曩ニ述ベマシタヤウナ形ニ於テ日本
醫師會ガ請負ツテ、サウシテ或年度間治療ヲ
スル、其治療ヲシタ場合ニ初診ノ診察料ガ
何點、是ミノ藥ハ何點、斯ウ云フ風ニナッテ
一年ノ間ニ點數デ現ハシタナラバ、其一年
ノ間ニ何點ノ日本醫師會ニ屬シテ居ル醫師
達ガ診療乃至治療、或ハ診察、處方箋等ヲ
シタカト云フ、其受取ツタ金額ヲ點數デ割ッ
テ見ル、割ッテ見マスト其結果十三錢、或ハ
十四錢、時ニハ十五錢ニナツタリ、或ハ地方
ニ於テハ十錢近クナリ、或地方ニ於テハ
二十錢近クニナル、斯ウ云フ風ナ結果ヲ見
ル譯デアリマス、二十錢ト云フモノハ架空
ノ數字デアリマシテ、詰リ一ツノ想像的價

値ヲ持ツタ數字、斯ウ云フ譯ナノデゴザイマ
スカラ其二十錢ノ中ニ藥ノ外ニ、外ノモノ
ガ含ンデ居ルカ、斯ウ云フ御尋ニ對シテハ、
詰リマア有ユル要素ガ含ンデハ居リマスガ、
結局點數デ現ハレテ居ル點數ガ金額ニシテ
何錢ニナルカト云フコトハ、具體的ニハ其
年其年ニ依ッテ金額ガ動クモノデアリマシ
テ、一點二十錢ト云フモノハ七圓四十四錢
四厘六毛ト云フ請負金額ガ出マス場合ノ一
ノ醫師會側ノ想像的ノ數字デアアル、少シ御
分リニクイカ知リマセスガ、サウ云フ立前
ノ數字デアリマス

○金杉英五郎君 只今ノ御話ト此間承ツタ
コトデ略、分ッタンデアリマスガ、醫師ニ對
スル一點ノ價值ト云フモノ、ソレカラ藥劑
師ニ對スル一點ノ價值ト云フモノハ醫師ハ
二十錢ヲ標準ニシ、ソレカラ藥劑師ハ幾ラ
ニスル、斯ウ云フヤウナコトガ大體決マッ
テ居ルノデアリマセウカ、最初施行セラレ
タ所ト色ニ變ッテ居ルノデ、今幾ラガ標準
ニナッテ居リマスカ薩張り分リマセスガ、サ
ウスルト今デハ十四錢幾ラト云フコトガ標
準ニナッテ居ルノデアリマセウカ、サウスル
ト二十錢ヲ標準ニシタコトハ今日デハ打消

シテシマッテ居ル譯デスネ

○政府委員(川西實三君) 二十錢ヲ標準ニ
シタト云フコトハ別ニ打消シテ居ルト云フ
譯デハゴザイマセス、詰リ今日ノ契約ニ於
テ一人當リ一年七圓四十四錢何ガシト云フ
金ガ出マシタ、ソノコトガ一點單價二十錢ト
云フ一ツノ豫測的ノ價值ヲ元ニシテ居リマス、
ソレデ十四錢トカ十三錢トカ申シマスノハ
詰リ結果ヲ見マシテ、サウ云フ一人頭幾ラト
云フノニ依ッテ請負ツテ、實際ニ診療シタ結
果ヲ見テソレガ十四錢内外ニナッテ居ル、
斯ウ云フ譯デアリマス、ソレデ此事ハ詰リ
二十錢ヲ凡ソノ一點單價ノ標準トシテ契約
イタシマシタ最初ノ年カラ今日迄、其十四
錢内外ノ始終一點單價ヲ保ツテ居ルト云フ
コトハ、此前アナタ様ノ御尋ネニ對シマシ
テ社會局長官カラ御答ニナツタ通りデアリ
マス、ソレデマア大體穩當デアルカナイカ
ト云フ問題ニナリマス、二十錢ガ本來一
ツノ請負、一人當リノ請負ノ單價ヲ出シマ
ス架空的ノ數字デアリマスガ、實際ニ當ッテ
十四五錢デドウカト云フコトハ、是ハマア
契約ノ當初ノ年カラ今日迄ズット餘リ大シ
ク變動ガナクテ、サウシテ醫師會ト契約ヲ

第四部第一二類 健康保險法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號 昭和九年三月十二日 貴族院

致シテソレヲ實行シテ居ルコトカラ見マシ
テ、ソシナニ不都合ハナカラウト感ゼラレ
マスノト、ソレカラ若シ一點單價ガ二十錢
ト云フコトガ世間普通ニ行ハレテ居ル觀念
ト致シマシテ、ソレヲマア極ク世俗的ニ申
上ゲマスト、實際普通社會ニ於ケル御醫者
サンノ收入ハ、或ハ患者デ金ノ支拂ニ困難
スルト云フヤウナ人ガアル、サウスルトマ
ア四割トカ三割ト云フ風ナモノヲ受取レナ
イヤウナ實情ニアル、其點カラ申セバ健康
保險ニ於テハ始終現金デアル、斯ウ云フ觀
點カラマア二十錢ノ三、四割内輪ノモノデ
アツテモ、實際生活カラ云フト別ニ安イトカ
低イトカ云フ風ニ見ラレナカラウト云フ、
斯ウ云フ論ジ方モ出來マス、マア兎ニ角健
康保險施行以來數年、一點單價トシテ醫師
會側ニ御拂ヒシテ居リマスル金額ハ十四錢
内外ヲ移動セズシテ、大シタ移動ナシニ今
日迄至ッデ居リマスヤウナ譯デアリマス、サ
ウ云フ譯デアリマスカラ、特ニ此二十錢ヲ
變化サセタト云フヤウナ立前ニハナッテ居
リマセス、藥劑師側ノ方ニ對シテ結ンデ居
リマスル契約ハ藥品ノ原價、ソレカラ是ハ
各藥品ノ名前ガズラリト細カク並ベテアリ
マスカラ、其表ヲ後デ御目ニ掛ケマス、ソ
レカラ調劑手数料、ソレカラ容器、是ナン

カガ細カク示シテゴザイマシテ、ソレニ對
シテ市場ノ値段ヨリモ幾分力内輪ニ見テ、
サウシテ處方箋ニ依ッテ藥劑ノ支給ヲ請求
スルモノガアレバ、其標準ノ値段ニ依ッテ藥
劑師ハ調劑ヲスル、斯ウ云フヤウナ契約ノ
方法ニナッテ居リマス、從テ藥劑師會ト契約
シテ居リマスル其契約ノ基準ノ立方、醫師
會ノ方ト契約シテ居リマス契約ノ基準ノ立
方ト、醫師會ノ方ノ一人當リ一年七圓何ガ
シト云フ所ノ引クルメタ金額ニナル、藥劑
師ノ方ハ藥、容器、手間代、殊ニ藥ノ方ハ
各個別ノ金額ニ依ッテ現シテ居ル、斯ウ云フ
ヤウナ違ヒガアリマス
○金杉英五郎君 サウスルト藥劑師ノ方デ
ハ一點幾ラト云フヤウナコトデ決メルノデ
ハナイノデスカ、色々包紙トカ手数料ト云
フヤウナモノ迄モ合算シテ、斯ウ云フノデ
スカ
○政府委員(川西實三君) 仰セノ通りデゴ
ザイマス
○金杉英五郎君 サウスルト醫者ノ方デ調
合スルト云フヤウナ場合ニモ、包紙トカ
色々手数料トカ調合者ノ給料ナドト云
フヤウナコトモアルト思フノデスガ、
サウ云フモノモ殘ラズ合算シ又藥ノ高イモ
ノト安イモノト云フヤウナモノデ決メルト

云フコトハナシニ、單ニ十四錢ナラ十四錢
ト云フコトデ打切ルコトニナッテ居ル譯デ
スネ、サウ承ッテ宜シウゴザイマス
○政府委員(川西實三君) 仰セノ通りデア
リマス
○男爵松尾義夫君 私モ一ツ伺ヒタイ、此
醫者ノ十四錢内外ト云フノハ何デゴザイマ
スカ、藥モ何モカモ含ンデ居ルノデゴザイ
マス
○政府委員(川西實三君) 左様デゴザイマ
ス
○金岡又左衛門君 此健康保險ノ立前ハ餘
程複雑シテ居ルモノデ、標準ハ今政府委員
ノ御話デ、請負ノ金額ヲ以テ其點數ヲ割ル、
ソレデ此點數ガ出テ來ル、被保險者ノ數ニ
依ッテ之ヲ割出シテ來ルト云フコトデ十四
錢ナリ十五錢ナリニナルト云フコトデア
ル、或方面ニ於テハ之ガ十錢ヲ割ッテ、九錢、
八錢ト云フヤウナコトニ該當シテ、逆モドウ
モ此健康保健ニ對シテ、醫師ガ健康保健ノ
診療ニ堪ヘラレマスト云フヤウナ、サウ云フ
不滿ノ聲ガアノ當時アル、ソレガ爲ニ藥モ
ドウモ段々ト低下シテ來ルト云フヤウナ、
惡イ藥ニナル傾向ガアル、一方ニ於テハ或
ハ耳鼻咽喉科ト云フ方面、サウ云フ方面、
眼科ト云フ方ニナルト、健康保健様々ノ健

康保健ガアル、茲ニ非常ニ不同ガアルノハ
是ハドウ云フ譯デアリマセウカ、又此請負
制度ノ爲ニ、被保險者ト保健醫ト多少通謀
ヲシテ、サウシテ病氣デナクテモ病氣ヲ粧
ウテ待遇スル、又輕イ病氣デモ、之ヲ相當
ナ病氣トシテ診療ヲスル、詰リ百分ノ六十
ト云フモノハ資本家側カラ出ルノデスカラ
シテ、サウ云フ不純ナ考ノ下ニ作業ヲサボ
ルト云フ傾向ガアル、普通一般ノ官公立ノ
病院ニ於テハ、一人ノ罹病日數ハ十七八日
間、健康保險ニ於テハ三十日ヲ以テ見ラレ
ルト云フ、斯ウ云フコトドモガ、健康保險
ノ餘程ハ弊害デハナイカ、斯ウ云フ點カ
ラシテ實業團體ナリ、勞働組合ナリ、斯ウ
云フ方面カラシテ、此最モ合理的デア
ル分業強制制度ヲ要望スルト云フ風ニ考ヘラレ
ル、サウ云フ點ハ如何デスカ
○政府委員(川西實三君) 一點單價ガ所ニ
依リマシテ、或ハ御醫者サンニ依リマシテ、
低イ所ガアリ高イ所ガアル、ソレガ爲ニ色
色醫師側ニ不滿ガアルノミナラズ、時ニハ
惡イ藥ヲ與ヘル、斯ウ云フ風ナ御話ニ對シ
マシテハ、此第一一點單價ガ地方ニ依ッテ甚
ダシキ懸隔ガアルト云フコトハ、御話ノ通
リニ面白クナイト當局モ固ヨリ考ヘテ居リ
マスノデ、此點ニ付キマシテハ、此前ノ委

員會ノ時ニ社會局長官カラ御説明ガアリマシタ通りニ、本來一點單價ノ不公平ガ起リマスノハ、日本醫師會ガ醫師會内部ニ於テ政府カラ受取ル所ノ金額ヲ分配スル、其分配ノ方法ニ於テ尙ホ研究ノ餘地ガアルノデハナカラウカ、斯ウ云フ意味デ、出來ルダケ相互ノ間ノ一點單價ニ甚ダシイ懸隔ガナイヤウニ分配方法ヲ考ヘテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ政府トシテ始終註文イタシテ居ル譯デアリマス、併シ此分配方法ハ色ミナコトヲ考慮ニ入レテ、慎重ニヤラナケレバナリマセヌノデ、醫師會ニ於キマシテモ、政府ノ其註文ニ對シテ始終研究ハシテ居ッテ下サル譯デアリマス、併シマダ今日迄ノ所デハ、第一點單價ノ甚ダシイ懸隔ヲ避ケルヤウナ、適當ナ方法ガ見付カラズニ居ル次第デアリマス、然ラバ御言葉ニアリマシタヤウニ、サウ云フ一點單價ガ低イ爲メ、醫者カラ患者ニ與ヘラレル所ノ藥ガ悪クハナカラウカ、斯ウ云フ御心配ニ對シマシテハ、當局モサウ云フ點ヲ注意イタシマシテ、怠ラズ醫者ノ診療内容ト云フコトノ監督ニ注意ヲ拂ッテ居リマス、最近モ特ニ各府縣ノ重要ナ所ヲ選ビマシテ、診療ノ内容ニ付テ細カイ検査ヲ致シマシタヤウナ次第ゴザイマスガ、其結果ハ或ル程度マデ分ッテ居リマス

ガ、未ダハッキリ結論マデハ分ッテ居リマセヌガ、今マデノ大體模様ヲ見マスルト、低イ單價ノ所デモ相當ナ藥ヲ出シテ居ラレル、斯ウ云フ結果ガ見エテ居リマシテ、必シモ案ジタヤウナ狀態デナイト云フコトカラシテ、喜ンデ居リマサウナ次第ゴザイマス、デ被保險者ト醫者ト通謀ヲシテ、所謂濫診濫療等ノコトガアリハシナイカ、斯ウ云フ御尋ネニ對シマシテハ、矢張り私共モ保險ノ濫用ニ付テハ極力監督ノ方法ヲ講ジテ、サウ云フコトノナイヤウニ致シテ居リマスノデ、具體的ニ申上ゲマス、各府縣ノ保險課ニ相當人數ノ視察員等ヲ間配リマシテ、始終サウ云フ點ニ注意ヲ拂ッテ居リマス、色ミ診療上ノ請求ガ出デ参リマシタ場合ニ、是ハト思フヤウナモノニ對シマシテハ、單ニ書面上ノ検査ダケデナシニ、實地ニ付テノ検査ヲスル、此點ニ付キマシテハ先程申上ゲマシタヤウニ、日本醫師會ニ於テハ一定金額ヲ以テ請負ッテ居ル關係ガアリマス、ノデ、若シ濫診濫療ガアリマスルト自分自身ノ、マア一口ニ申セバ損ニナル譯デアリマス、サウ云フ點カラ申シマシテ政府側ト日本醫師會側トハ濫診濫療ヲ避ケタイト云フ點ニ於テハ、利害ヲ共通ニ致シテ居ル譯デアリマシテ、時ニハ相互ヒニ共同ヲシ、

時ニハ各、ノ立場カラ、其濫診濫療ノナイヤウニ注意ヲ致シテ居リマサウナ譯デゴザイマス、其點ニ於キマシテモ、日常ノ事務ヲ扱ヒマス場合ニ監督ヲ致シテ居リマスルノミナラズ、最近ノ事例ヲ申上ゲマシテモ、是ハ全國ニ互リマシテ……全國ニ互リマシテ政府ト醫師會ト同一ノ步調ヲ以テ、相互ヒニ醫者ノ不正無キヤ否ヤ、濫診濫療等ノコト無キヤ否ヤト云フ調査ヲ致シマシタ、中ニハ不都合ナモノモ發見サレマシタヤウナ譯デアリマスガ、斯ウ云フヤウナ調査ヲ突發的ニ或ハ常時的ニ行フコトニ依ッテ、全體ノ空氣ヲ引締メテ、萬々サウ云フヤウナ弊害ノナイヤウニ努メテ居リマサウナ譯デアリマス、最後ニ罹病日數ノ問題ニ付テ、普通ノ病院ニ於テハ十七八日デアルノニ、健康保險ニ於テハ三十日、是ハ一ツノ制度ノ缺陷デハナカラウカ、斯ウ云フ御尋ネデアッタヤウニ思ヒマスガ、此點ニ付キマシテハ、斯ウ云フコトラ一ツ御理解ヲ願ヒタイノデアリマス、健康保險ニ於キマシテハ、患者ガ病氣ニ罹リマス、其病氣ガ如何ニ輕クテモ、亦其傷ガ如何ニ小サクテモ、苟クモ傷病ト判斷サレルモノニ於テハ、躊躇ナク、何等ノ顧慮ナク、醫者ノ治療ヲ無料デ受ケルコトニナッテ居ルノデアリマス、

一ツノ傷病ニ付キマシテ、百八十日間ハ被保險者ハ無料デ診療ヲ受ケル、人情ノ常ト致シマシテ、自分ガ全部ノ費用ヲ出ス場合ハ勿論ノコト、或ル程度ノ費用ヲ負擔スル場合ニ於キマシテハ、全然只デヤッテ貰ヘルト云フ場合トハ大分趣キヲ異ニスルノデアリマス、之ヲ健康保險ノ制度ノ上デ比較イタシマシテモ、或ル國ニ於キマシテハ所謂一部負擔、患者ニ或ル程度ノ負擔ヲサセル、斯ウ云フ制度ヲ取ッテ居ル所ガゴザイマスガ、其國ト日本ノ如キ全ク負擔サセナイト云フ制度ヲ取ッテ居ル國ト比較イタシマスト、病氣ニ罹ッタ、傷病ノ手當ヲ受ケタト云フ日數ニ於テ大分開キガアルヤウデゴザイマス、又同ジ日本ニ於キマシテ、或ル救済組合ガゴザイマス、此救済組合ニ於キマシテハ、診療ニ要シタ費用ノ二割位ハ本人ガ自辨スルコトニナッテ居ル、斯ウ云フ所ノ診療日數ト健康保險ノト比ベマス、矢張り格段ノ差ガアルヤウデゴザイマス、デ御話ノ病院トハ如何ナル種類ノ病院カト存ジマセヌガ、多分患者ガ普通ノ治療ヲ、或ハ全額ノ負擔ニ於テ、或ハ多少特殊ナ病院デアッテモ、或ル程度ノ負擔ヲ自分ガシテ居ル病人デハナイカ、斯ウ云フ風ニ思ハレマス、健康保險ニ於テ、全額保健料カラ支

辨サレテ、自分ガ何ニモ支辨スル必要ガナイ、如何ニ輕イ病氣デモ見テ貰ヘルト云フ立前ヲ取ツテ居リマス所ニ於テ、診療ノ日數ガ相當他ニ比ベテ多イト云フコトハ、是ハ自然デハナカラウカ、別ニ弊害デハナイ、斯ウ云フ風ニ私共ハ觀察イタシテ居リマス

○金岡又左衛門君 今先刻ノ御話ノ中ニ、請負制度デアツテ、日本醫師會ヘ之ヲ豫定ノ請負金額ヲ出シ、九百萬圓デスカ、ソコデ日本醫師會ガ之ヲ分配スル、保險醫ニ分配スル、其方法ニ於テ不同ノアルコトガ、日

本醫師會ニ分配スル方法ニ於テ、餘程御研究ヲ願ハナケレバナラヌト云フコトヲ仰シヤツテ居リマスガ、日本醫師會ニ之ガ責任ヲ轉嫁サレテ、政府ハ誠ニ樂ナヤウナ形デア、ソレハ請負制度デアルト云フコトデア、元來生命ニ關スル、衛生保健ニ關スル、斯ウ云フ問題ヲ請負ニサレルト云フ、其根本ノ制度ガ私ハ如何ナモノデアラウカ、建築ナリ、土木ヲ請負ニサレルヤウナモノデ、病氣疾病ナドノ健康保險問題ヲ請負ニスルト云フ、是ガ餘程根本カラ御考究ニナルベキモノデナイカ、或ハ濫診亂療ニ陥ルヤウナコトデアレバ、度數制度ヲ用ヒル、又政府ニ於テ非常大、玆ニ監督ヲ嚴重ニシテ、濫診亂療ニ陥ラナイヤウニセラレルト

云フ方法モアル、請負制度ニセラレルガ爲ニ、病氣ニ罹ツテモ罹ラナクテモ、醫師會ニハ九百萬全部ヲ支出シテ、之ヲ使ツテシマフ、絶對的ニ、合法的ニハ是ハ使用サレナイト云フ、サウ云フ玆ニ缺陷ガアル、政府ガ財政ノ都合上、斯ウ云フ譯デアルト云フコトニ、或ハナルカモ知りマセヌガ、斯ウ云フ疾病上ノ保健衛生ニ關スル問題ハ之ヲ請負事業ト云フコトノ立前ニサレタコトガ、是カラ一ツ御考ヘニナルベキモノジヤナйкаト考ヘマスガ如何デスカ

○政府委員(川西實三君) 御話ノ通りニ此請負ノ制度ニハ、之ニ伴フ缺點ガアルヤウニ思ハレマス、動モスレバ其診療内容ガ低下シハセヌカ、斯ウ云フ點デアリマス、若シ費用ト云フ點ニ何等ノ懸念ガナク、又總テノ人ガ十分ニ信ズルコトガ出來ルヤウナ狀態デアリマスルナラバ、患者ハ病氣ニ罹ツタ場合ニ直ニ御醫者サンニ行ク、御醫者サンノ手當ヲ受ケテサウシテ其金額ヲ政府ニ請求シテ來ル、ソレヲソレニ依テ支拂フ、斯ウ云フ風ニスルコトガ最モ理想的デアラウト思ハレルノデアリマス、所謂各個人誰デモドノ御醫者サンニデモ掛ツテ、サウシテ掛ツタダケノ金額ヲ拂ツテヤル、ソレニ一定ノ標準ヲ設ケテ、一定ノ金額ニ依テ支拂フ、此

所謂定額式ト、斯ウ云フコトモ考ヘラレナイ譯デアリマセヌ、併ナガラ何分ニモ二百萬ノ被保險者ヲ持ツテ居リ、サウシテ數萬ノ御醫者サン、此人達ニサウ云フ風ナ制度ヲ採ツテ行クト云フ場合ニハ、非常ナ不安ヲ感ズル譯デアリマス、一定ノ保險料ト或ル程度ノ國家ノ費用デ以テヤツテ行キマス場合ニハ、凡ソ費用ニ付テ見定メガ付キ、ソレガ大シタ弊害ナシニ行ハレルト云フヤウナ目安ヲ付ケテヤツテ行ク必要ガアル譯デアリマス、限ラレタル人數ノ人ガ、其事務ニ當ル者ノ監督ノ任ニ當ツテ、總テノ人ヲ見張ツテ居ルト云フ譯ニ行カナイ場合ニ於キマシテハ、請負ノ制度ヲ採ツテ、サウシテ醫師會自身ノ自治ト、自治的ノ一種ノ統制ト、政府ノ監督ト相俟ツテ、サウシテ或ル程度ノ目安ヲ置イタ金額デ其事務ヲ比較的簡單ニ處理シテ行クト云フコトハ、確實性ヲ必要トスル保險制度ニハ甚ダ大切ナコトデハナカラウカ、ソレデ此請負制度ヲ採ツテ居リマスノハ必シモ我ガ國ダゲデナイノ

デゴザイマスノデ、英吉利ノ如キモ、又獨逸ノ如キモ根本ヲサウ云フ制度ニ置イテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、殊ニ請負制度ノ缺陷ガ全然ナク、サウシテ他ノ弊害ノ伴ハナイ良イ制度ガ見付カレバ、固ヨリ私共

ノ任務ハ、工場、事業場、事業等ノ中カラ出サレマシタ保險料ヲ最モ被保險者ノ爲ニナルヤウニ使フノガ目的デアリマシテ、是ハ相當改善シナケレバナラヌ點ガアルト思ヒマスガ、如何ナル點ヲ改善スベキカト云フヤウナ點ニ付テ、種々注意ヲ拂ツテ居リマスヤウナ譯デ、診療内容ノ動モスレバ低下スルト云フコトハ、請負制度ノ陥リ易イ弊害デアルト云フコトヲ承知シテ居リマスカラ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、診療ノ内容ニ付テハ常時的ニハ勿論、臨時的ニモ特別ナ調査ヲスル、オ醫者サンニ對シマシテモ、平生ノミナラズ特別ナ又検査ヲスル、サウ云フヤウナコトヲシテ、其弊害ガ出來ルダケ少イヤウニ努メテ居ル譯デアリマスカ、其他ノ點ニ於キマシテモ、請負制度或ハ請負制度ヲ運用シテ行ク上ニ於キマシテ、先程モ御話ノゴザイマシタ診療方針其他ノ點ニ付テ、折角注意イタシテ居リマスヤウナ譯デアリマスガ、他ノ方法、之ニ代ル良キモノガ發見サレ、請負ノ弊ニ堪ヘナイ……安心シテソレニ代ルヤウナモノガ見付カレバ、固ヨリサウ云フヤウナ制度ヲ執ルコトニ決シテ躊躇スルニ當ルマイト思ヒマス、今日マデノ處デハ、安心シテ代リ得ル他ノ制度ガナイ、從ツテ現在ノ請負制度ニ於

テ、濫診亂療ニ陥ラナイヤウニセラレルト

テ出來ルダケ缺點ヲ少クシテ運用シテ行ク、
サウ云フコトニ努メテ居ルヤウナ次第デア
リマス

○子爵梅園篤彦君 此前ノ委員會ニ於キマ
シテ、強制被保險者ノ範圍ノ擴張ヲ將來更
ニ行ハレマスカドウカト云フコトヲ御伺シ
マシタ場合ニ、將來ソレヲ擴張スル御意思
ノアルコトヲ拜聴イタシマシタガ、其御答
辯ノ中ニ、進ンデ商業従業員ニ對シテモ之
ヲ擴張シタイ希望デアルヤウニモ伺ヒマシ
タ、結構デアルト存ジマス、社會政策的見
地カラ申シマシタナラバ更ニ一步ヲ進メ
テ、一般下級「サラリーマン」マデ及ボスベ
キモノダラウト存ジマス、從テ國家ノ財政
ノ許ス限リ其範圍ノ擴張ヲ強化スル、誠ニ
望マシイト考ヘテ居リマス、併ナガラ現在
ニ於キマシテモ健康保險醫ニ付キマシテ
ハ、相當ノ弊害ガ伴ッテ居ルノデアリマス
カラ、將來其範圍ノ擴張セラルルニ從ヒマ
シテ、層一層其弊害ガ増大セラルベキモノ
デアルト云フコトハ考ヘネバナルマイと思
ヒマス、先程金岡君カラ色ミト是等ノ弊害
ニ付テ御質問ガアリ、ソレニ對シテ政府委
員カラ縷々御鄭重ナル御答辯ガアリマシタ
ノデ、大體諒承イタシマシタガ、此種ノ犯
罪ハ至ッテ行ハレ易ク、而モ之ヲ發見スルノ

頗ル困難ナモノガアリマスカラ、之ヲ是正
スルト云フ方法ハナカ／＼ムヅカシイダラ
ウト存ジマス、先程ノ政府委員ノ御答辯ニ
依リマシテモ、何カ良イ方法ガアレバソレ
ニ依ッテヤリタイト云フ風ニモ伺ヒマシタ
ガ、事實是ノ是正ノ方法ト云フモノハ困難
ダト思ヒマス、就キマシテハ其是正ノ方法
トシテ、一部ノ有識者ノ間ニ唱ヘラレテ居リ
マス所ノ、診療及治療ノ給付ニハ保險醫師
ガ當リ、藥劑及治療材料ノ給付ハ保險藥劑
師ヲシテ行ハシメルト云フヤウナ方法ハ、
當局ニ於テ如何様ニ御考ニナッテ居リマス
カ、是等ノ方法ハ適切有效ナルモノデア
ルト云フヤウナ御考ニハナラヌデセウカ

○政府委員(丹羽七郎君) 只今ノ梅園子爵
ヨリ健康保險ノ非常ニ必要ナ、殊ニ其擴張
ニ付テモ非常ニ御理解ノアル御深切ナ御言
葉ヲ伺ヒマシテ、私共有難ク存ズル次第デ
ゴザイマス、健康保險ノ醫療制度ニ付キマ
シテハ、先程來金岡サンヨリノ種々ナル御
尋ニ對シマシテ、他ノ政府委員ヨリ御答
致シテ居リマスルヤウニ、私共ト致シマシ
テハ、健康保險ニ於テ醫療ト云フコトガ一
番ノ中心ノ問題デアリマスル關係上、是ガ
最モ能ク目的ヲ達成イタスヤウナ方法ニ付
キマシテハ、常々十分注意ヲ致シテ考究イ

タシテ居ルヤウナ次第デアリマス、現在ノ
制度ニ於キマシテハ色ミ御批評モ伺フノデ
アリマスガ、第一ニハ私共ハ健康保險ニ付
キマシテハ、非常ニ安イ掛金デ以テ健康保
險經濟ヲ運用イタシテ居リマスルヤウナ次
第デアリマスルカラ、醫師ナリ、又藥劑師
ニ付テモ同様デアリマスガ、極メテ生活ノ
裕カナ人達ガ診療ヲ受ケルト同様ナ支拂ハ
到底出來難イト云フヤウナ關係ガアリマス
ルカラ、先ヅ安ク御願ヒスルト云フコトニ
結局ナルト思ヒマス、安ク御願フスルケレ
ドモ中味ハ落サナイヤウニト云フコトガ我
我ノ御願デアリマス、ソコデサウ云フ方法
ヲ色ミ考ヘマシタ揚句、被保險者トシテ
ハ、成ルベク廣ク自分ノ信賴スル醫師ニ治
療ヲ受ケルコトガ出來ルヤウナ制度デアッ
テ、而モ其内容ガ相當良イ内容デアルト云
フコト、サウシテ保險經濟ノ方カラ言ヒマ
スルト、餘リ高クナイ支拂ヲシタイト云フ
コトガ私共トシテハ當然考ヘナケレバナラ
ヌ點デアリマス、ソレ等ノ雙方ノ點ヲ考ヘ
マスルト、今日ハ日本デ特ニ發達ヲ致シテ
居リマスルヤウナ醫師ノ團體ヲ利用イタシ
マシテ、之ニ一ツ安クヤッテ貰ヒタイト云
フコトヲ求メル、サウシテ所謂團體自由選
擇主義デ廣ク多數ノ保險醫ヲ指定スルヤウ

ニ致シマシテ、サウシテ何處ヘデモ成ルタ
ケ廣ク、自分ノ信賴スル所ニ行ケルヤウニ
スルト云フヤウナ方法ヲ採ル、先ヅサウ云
フヤウナ方法ヲ採ル、而モ保險經濟上成ル
ベク赤字ニナラナイヤウニ安全ニ行カウ、
社會保險ガ是カラ段々發達イタシマスルニ
付キマシテモ、保險經濟自體ノコトモ十分
考慮ヲ致サナケレバナラヌノデゴザイマ
スルノデ、ソレ等ノ點ヲ合セマスルト、
ドウモ今マデノ所デハ此制度ガ一番宜シ
イ、然シ多數ノ醫師ノ間ニ於テ、自分ノ所
ハ出サヌヤウナ藥ヲ出シタヤウナコトニス
ルトカ、或ハ輕イ病人ヲ重イ病人ノヤウニ
假裝ヲシテ藥價ヲ要求スルトカト云フヤウ
ナ人ガアッデハ大變デアリマスルカラ、當
局ト致シマシテハ十分監督ヲ致スノミナラ
ズ、醫師會トシテモ、是ハ相互ノ監督ヲド
ウシテモ行ハナケレバナラヌ譯デアリマ
ス、若シサウ云フコトヲ放任シテ置キマス
レバ、醫師會ト致シマシテハ、正直ナ誠實
ナル醫師ガ非常ナ不利益ヲ蒙ル、信用ノ
上モサウデアリマセウガ、實際現實ニ金ノ
支拂ヲ受ケル其一定ノ單價ト云フモノガ、
サウ云フモノヲ放任シテ置キマスレバ非常
ニ下ガルノデアリマスカラ、サウ云フコト
ハ相互ニ監督ヲ致スト云フ大キナ組織ノ力

ヲモ同時ニ用フルコトガ出來ルト云フヤウナ關係カラ、醫師會ト一定ノ契約ヲ締結スルト同時ニ、又當局ト致シマシテモ醫師會トシテモ監督ヲスルト云フ方法ヲ執ッテ居ル次第アリマス、就キマシテハ梅園子爵ノ御尋ネノ將來ノ問題トシテ、醫藥分業ニ付テ如何ニ考ヘルカト云フ御尋ネニ御答ヲスルコトニナルト思ヒマスガ、先般モチヨツト此問題ニ觸レテ御答ヲ致シテ居ッタノデアリマスルガ、先ヅ現在ノ所ノ考ヲ一應申シマスルト、現在デハ此開業醫ト云フヤウナ制度、又病院モ相當ゴザイマスルガ、兎ニ角開業醫ト云フモノハ非常ニ普及イタシテ居リマシテ、其醫師ニ對スル相當ノ信頼ガ一般國民ノ間ニアリマシテ、サウシテ醫者ニ診テ貰フ、藥ヲ盛ッテ貰フ、藥ヲ指定シテ貰フト云フ以外ニ、色ミ手當ヲ聞クトカ、少シ重イ病人ニナレバ人ニ何度モ様子ヲ聞イテ貰ッテ、之ニ對スル手當ヲ相談スルトカ、マア色ミ非常ナ人的關係ガ深イ、唯自分ノ醫師トシテノ知識ノ切實リヲスルト云フダケデナク、非常ニ密接ナ人情ノ關係ガ有ルト云フヤウナノガ、現在ノ日本ノ醫師ト國民トノ間柄デアリマス、サウ云フヤウナ間柄ニアリマスルノデ、唯健康保險ノ被保險者ダケノ藥ハ藥劑師カラデナケレバ貰

ヘナイト云フコトヲ矯正シテ行フヤウニ相成リマスレバ、非常ニ此被保險者ト云フモノハ氣ノ毒ナコトニ相成ルノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ又一般ノ人ガ行ケバ藥ガオ醫者サンノ所ヘ行ッテ貰ヘルト云フ時ニ、被保險者ダケハオ前ニハ藥ヲヤラナイノダ、オ前ハ藥劑師ノ所ニ行ケ、處方箋ヲヤルカラ、ト云フコトニナリマスルト、ドウモ此大事ナ健康保險ニ於キマシテダケ、被保險者ト云フモノハナンダカ人並ミニ扱ヒラ受ケナイヤウナ感ジヲ持ッタリシテ、今日ノ日本ノ實情デハドウモソコガ無理ガ行クノデハナイカ、先ヅ私共トシテハ現在ノ一般ガサウデアアルナラバ、一般人ガ信頼ヲシテ居ル制度ヲ其儘採リ入レテ、サウシテ惡イ所ガアレバ直シテ行クト云フノガ一番宜シイノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ現在居ル譯デアリマス、將來ニ此擴張ヲ致シマスル場合ニドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、擴張ヲスル其對照ゴトニ色ミ制度ノ上デモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、現在ハ傭人、勞働者、傭ハレテ居ル人間ト云フダケノ目標ニ致シテ居リマスカラ、今後例ヘバ職人ノ階級、「サラリーマン」ノ階級ト云フヤウナ者ヲ被保險者ニスル時ニハドウ云フ方法ヲ採ラウカ、或ハ農民デアルトカ、

獨立ノ中小商工業者ト言ッタヤウナ者ヲ扱フ場合ニハドウ云フ方法ニシタラ宜イカト云フヤウナコトハ、其各擴張イタシマス制度ニ從ッテ、擴張ヲ致シマス場合ニ於キマシテ十分考慮ヲ致シテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リマシテ、今斯様ニソレハ致シテ宜シイト云フ具體的ノ結論マデハ得テ居ラナイ譯デゴザイマスカラ、今後研究ヲ致シテ參リマスル際ニ、同時ニ醫者ト藥劑師ト云フヤウナ問題ヲモ、其時ニ考慮イタシマシテ、サウシテ適當ニ案ヲ立テタイ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○金杉英五郎君 是ト關聯シタコトデチヨツト御許シテ願ヒマス、金岡君、梅園子爵カラ健康保險醫ノ犯罪、或ハ濫診濫療ト云フヤウナコトハ屢、出マス、是ハ衆議院デモ大分出タヤウデアリマスガ、我ミノ見タ所デハ、何業ニ於テモ多少ノ手落ちノアル場合ハアリマセウケレドモ、三萬何千ト云フ醫者ハ、健康保險ト云フノハ法ニナッテ現ハレタ以上ハ仕方ガナイト云フノデ、犧牲的精神ヲ以テ皆ヤッテ居ルノデアリマス、値ガ安イ爲ニ濫診濫療ト云フヤウナコトヲ言フ人ハ、甚ダ下品ナ考ヲ持ッテ付度スルト云フヨリ外ハ見ラレナイ、全體ニ於テ當局者ハ犯罪アリ、又濫診濫療アリト云フヤウナ

コトヲ廣ク御認メニナッテ居ルノデアリマセウカ、之ヲ一ツ伺ッテ置クコトガ大切ダト考ヘマス

○政府委員(丹羽七郎君) 只今金杉サンカラノ御話デゴザイマスルガ、我ミハ此多數ノ醫師ガ今日ハ健康保險ト云フモノノ社會的重要性ヲ餘程ヨク理解シテ貰ッテ、此爲ニ盡スト云フ氣持デヤッテ居ラレルモノト考ヘテ居リマス、併シ多數ノ中ニ幾ラカ正當デナイ者ガアルト云フヤウナコトモ往々ニシテ現ハレルノデアリマス、ソレニ付テノ數字ハ他ノ政府委員カラ申上ゲマスガ、サウ云フ者ニ付テハ十分私共モ注意ヲシテ、又醫師會トシテモ十分ナル注意ヲ願ヒタイ、斯ウ云フコトヲマア申シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○政府委員(川西實三君) 此處ニ健康保險施行以來、昭和八年十二月マデニ不都合ナル者トシテ、保險醫ニ對シテ處分ヲシタ調ベガゴザイマス、其數ノ大體ヲ申上ゲマス、處分ノ内容ハ一番重イノハ除名處分、即チ保險醫ヲ除名スル、是ガ昭和二年カラ昭和八年ノ十二月末日マデニ十六名ゴザイマス、ソレカラ指定ノ取消ト云フノガゴザイマス、是ガ九十三名、其外旨ヲ含メテ罷メサシタ者、是ガ十七名、ソレカラ輕イ程度

ノモノデ戒告、注意等ヲ加ヘマシタ者ガ百八十五名、約三百名ヲチヨット超エテ居ル、斯ウ云フ風ナ状態デアリマス

○子爵梅園篤彦君 健康保險ノ不正行爲

ニ付テ、今金杉博士カラ御質問ガゴザイマシタガ、私モ現在ニ於テハ、今政府委員ガ御答辯ニナリマシタ三百名餘ヲ以テ非常ニ多數デアルトハ考ヘテ居リマセヌガ、將來擴張強化サレマシタ場合ニ、犯罪、或ハ不正行爲ガソレニ從ッテ激増シテ行キヤシマリマシテ、現在ノ保險諸君ガ多數サウ云フコトヲヤッテ居ラレルト云フヤウナ風ニ考ヘテ申シタノデハアリマセヌカラ、其點ハ博士ニ於カレマシテモ惡シカラズ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス、諸テ先程ノ御答辯ニ於キマシテ、我國ニ於テハ一般民衆ハ今日ノ開業醫ノ制度ヲ認メテ居ル、而シテ是ガ行ハレテ居ルカラ、此制度ガ世間一般ノ慣習トナッテ居ル、從ッテ健康保險醫ニ於テノミ一般醫藥分業法ヲ行フト云フコトハ困難デアルト云フ風ニ伺ヒマシタ、ソレハ誠ニ御尤ト存ジマス、唯世界ノ大勢ガ醫藥分業ニ傾イテ居リ、殊ニ英國ノ如キ自由分業ノ國ニ於テスラ、健康保險ニ於テハ強制分業ガ行ハレテ居ルト云フヤウナ點ヲバ考慮

シテ頂キマシテ、ナカナカ困難ナ問題デアルトハ思ヒマスガ、政府ニ於テ將來健康保險ヲ擴大強化セラレルト云フ御意思ガアリマスル以上ハ、此世界ノ大勢ニ從ッテ、醫藥分業ト云フコトヲバ十分ニ御考慮ヲ願ヒタイト云フコトヲバ希望シテ置キマス、更ニ御尋イタシタウゴザイマスノハ、現行ノ健康保險制度ハ元々勞資協調ノ大精神ニ基イテ居リマスル所ノ、被保險者ノ生活ニ對スル國家的保障デアリ、且ツ被保險者ノ健康ノ保持ニアリト云フコトハ申ス迄モナイ所デアリマス、從テ本法ノ目的ガ勞働能率ノ保全デアリ、産業能率ノ増進ニアルト云フコトモ亦然然デアリマス、然ルニ健康保險ノ擴大改正案デアリマスル本案ニ於キマシテハ、疾病ノ豫防ト云フ點ニ付テ何等考慮ヲ拂ハレテナイカノヤウニ思ヒマスルガ、如何ナモノデアリマセウカ、若シ私ノ見マスル如ク、疾病ノ豫防ニ付テノ考慮ガ拂ハレテナイト致シマシタナラバ誠ニ遺憾デアルト思ヒマス、病氣ヲ治スト云フコト、治療スルト云フコトモ固ヨリ大切ナコトデアリマスガ、ソレヲ豫防スルト云フコトハヨリ以上大切ナモノデハナカラウカ、寧ろ健康保險ノ目的ヲ達スルト云フ點ニ於テハ、治療ヨリモ豫防ニヨリ多キ希望ヲ置クベキモノ

デハナカラウカト思ヒマスガ、是等ノ點ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(丹羽七郎君) 只今梅園子爵ヨリ健康保險法ニ於テハ、病氣ノ治療固ヨリ大事デアルガ、病氣ニナラヌ豫防的ノコトヲスルト云フコトガ更ニ一層大事デハナイカ、ソレニ對スル考ヘドウカト云フコトデアリマシテ、誠ニ適切ナル御話デアルト私共考ヘテ居リマス、健康保險ノ方ニ於キマシテハ、御話ノ通り病氣ニナラナイデ健康ヲ維持スルト云フコトヲ一番大事ナ事柄ト考ヘテ居リマス、健康保持ノ爲ニ必要ナ注意ト云フコトニ付テハ、色ミノコトヲ致シテ居ルノデゴザイマス、豫算ノ方デモ此健康保險ノ特別會計ノ中ニ、健康保險施設費ト云フモノヲ置イテゴザイマスガ、是ハ主トシテ今ノ御話ノ豫防的ノ方法、健康ヲ保持スル、健康ヲ害ナハナイ爲ニ必要ナ方面ニ色ミト金ヲ使ッテ居ル譯デアリマス、或ハ衛生上ノ色ミノ注意、色ミノ心得ヲ教ヘル爲ニ其心得書ヲ配布スル、或ハ活動寫真其他ノ講演ト云フヤウナ方法ヲ以チマシテ、被保險者ニ保健衛生思想ヲ吹込ミマシテ、或ハ健康ノ相談ニ應ジマスルカ、或ハ相當ノ「レントゲン」ナドヲ慣キマシタリシテ相談ニ應ジルトカ、或ハ又、相當ハ金ヲ

掛ケテ行ヒマシタ一ツノ仕事デアリマスルガ、寄生虫ノ驅除ヲ致シタルカ、色ミノコトカラ、其外澤山ノ項目ニ互リマシテ、年々御話ノ健康維持、豫防的ト云フコトニ付キマシテハ行ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ若シ詳細ノ事ガ御必要デアリマシタラ、現ニ行ッテ居リマス各事業等モ申上ゲテモ宜シウゴザイマスガ、大體右様ナ次第デアリマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御答辯デ大體諒

承イタシマシタ、今ノ文書デ以テ更ニ詳シイコトヲ伺フコトガ出來マシタラ、尙ホ仕合セト存ジマス、尙ホモウ一ツ御伺シタイト思ヒマスガ、此現在健康保險加入者ガ二百萬人アッテ、今度ノ改正案ニ依リマス、二十九萬人増加スルト云フヤウニ伺ッテ居リマスガ、此二十九萬増加スルガ爲ニ、之ニ要スル國庫ノ負擔スベキ經費ハ凡ソドノ位要リマスデゴザイマセウカ

○政府委員(川西實三君) 約五十萬圓見當

デアリマス、昭和十年度カラ實施スル計畫ニナッテ居リマス

○金岡又左衛門君 私ハ先程梅園子爵カラ御尋ニナリマシタコトニ付テ、政府委員ガ縷々御答辯ニナリマシタガ、其コトニ付テ一言御伺イタシタイト思ヒマス、梅園子爵ガ、

現今ノ保險法ヲ擴張スルト云フコトニナルト所謂個人商店、ソレカラ「サラーマン」、斯ウ云フ方面ヘモ段々擴張シテ行クトソレハ一千萬人、或ハ二千萬人ニモ段々ナルベキ傾向ニナリハシナイカト云フコトデシタガ、果シテサウ云フコトニナレバ、是ハ所謂大衆保健衛生保險問題、國家衛生保險問題、詰リ是ハ國力ノ消長ニ關ヘル大問題デアアルデアリマシテ、其點ニ付テ此現在行ハレテ居ル醫藥制度デハ之デハイケナイ、將來此點ニ付テ政府ハ如何ニ考ヘテ居ルカト云フ御質問、非常ニ是ハ重大ナ質問ト思フ、政府ハ其時ニ於テハ固ヨリ今日ノ制度ハイカスト考ヘテ居ルガ、今ノ所デハ是デ宜イト云フコトノ御考ニナツテ居ルト云フ御答辯デアリマス、今ノ所デハ是デ宜イト云フコトノ御考ハ、ソレハ將來ノ事ハ今日ニ於テ是ヲ御考ヘニナリ、解決シテ置カレナイト云フト、其時ニナツテ考ヘルト云フヤウナコトデハ、ソレデハ私共ハドウモ政府ガ誠意ガ足ラナイデヤナイカ、今日ニ改正案ヲ出サレル時ニ於テ、既ニ是ハ來ルベキ問題トシテ之ヲ實行セラルベキモノデアルト私ハ思フノデアリマス、其御答辯ノ中ニモ、ドウモ政府ハ樂ナ事バカリ考ヘテ居ラレル、現在是デ宜イ、日本ノ醫療制度ハ、此知識ノ切實ニ

アラズシテ、色々診療所以外ニ、醫師ト患者トノ間ニ能ク行ハレテ居ル、是デ現在デハ差支ナイト考ヘテ居ル、ソコガ餘程御考ヘニナラナケレバナラヌ點デ、ソレハ詰リ數十年來、數百年來爲シ來ッテ居ル所謂舊習デアリマシテ、此藥劑師ナリ醫師ノ間違ヒ又不正ト云フコトハ、他ノ事トハ違ッテ、容易ニ表面ニ現レニクイコトデ、今川西部長ノ御話ノ健康保險醫デモ、三百名カラノ除名ナリ指定取消、諭示退職、又警告ヲ發シテ注意サレル者ガ三百名モアル、是ハモウ現レタモノデ已ムヲ得ズサウ云フ手段ニ出ラレタ、之ガ現レナイデ済ム……藥劑師、醫師ノ間違ヒカラ現レナイデ済ムノハ、是ハ他ノ事柄ト大ニ趣ヲ異ニシテ居ル、只今政府ガ御考ニナツテ居ルヤウナ事デハ、何モ藥劑師法ト云フモノハ要ラナイ、藥劑師ト云フモノヲ拵ヘルト云フ必要ハモウナクナツテシマフ、藥劑師法ト云フノハ、此法律ガ現今デハ死藏サレテ居ル形ニナツテシマフ、活用サレテ居ナイ、唯斯ウ云フ法ガ設ケラレテ居ル、藥劑師法ソノ者モ唯出來テ居ルダケデ、之ヲ矢張り活用スルト云フコトガ如何ニスベキモノデアルカト云フコトヲ御考究ニナラナイト、唯現在ハ是デ宜イカラ宜イ、斯ウ云フヤウナ其御考ハ、是ハ政府

トシテハ餘程御考ヘニナラナケレバナラヌト思フノデアッテ、詰リ事ヲヤリマスニ付テ事業家が營業上ノ買入モスル、ソレカラ販賣モスル、會計モスル、決算モスル、一人デ之ヲヤッテ居リマスナラバ、必ズ間違ヒガ起ル、間違ヒガ起ラナイト云フノハソレハ嘘デアル、併シ其間違ヒハ分ラナイデ済ム、又是ハ極端ニ云ヘバ、不正ノ起リ易イ、サウ云フ形ニ在ルモノハ、一方ニ於テ之ヲ獨占ラサレ壟斷ヲサレルト云フナラバ、是ハドウシタ所デ間違ヒハ起リ、又其間違ヒガ不明ノ下ニ葬リ去ラレルト云フコトハ、是ハ爭フベカラザル事實デアリマスカラ、現在ガ是デ宜イカラ是デ宜イト考ヘテ居ルト云フ其御考ハ、是ハドウモ國民衛生保健上ニ對シテ、又此健康保險法ニ對シテ、是ハ政府ハ餘リニモドウモ……、是デ唯大體ニ於テ間違ヒガナイト云フコトヲ仰シヤルノハ、是ハ餘リ舊習ニ囚ハレテ居ルノデハナイカト考ヘル、其點ハ如何デアリマス

カラ、又其雇主カラ會金ヲ取ッテ此仕事ヲヤッテ行キマス上ニ弊害ノアリマスルコトハ、極力之ヲ避ケテ、十分本法ノ目的ヲ達成シタイト云フコトニ付キマシテハ、決シテ一時逃レナゾハ致シテ居ラヌ積リデアリマス、唯御話ノ點ハ醫藥分業ト云フ其原則ニ付テノ御尋デアリマス、ソコデ醫藥分業ト云フモノハ、衛生行政ノ上ノ一ツノ非常ナ大キナ問題デアルト考ヘマス、是ハ先般モ衛生局長カラ御答ヘヲ致シテ居リマスルヤウニ、更ニ考究ヲ要スル問題デアルノデアリマス、現在ノ所デハ藥劑師ガ其職務ヲ果スヤウニスルヤウナ仕事ニ付キマシテ、衛生當局ト致シマシテ色々考究ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、我々健康保險ノ當局者ト致シマシテモ、先般來申上ゲテ居リマスルヤウニ、現在ノ制度デ健康保險ダケガ特別ノ醫藥分業ト云フ形式ヲ採ルコトハムヅカシイ、斯様ニ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、健康保險ノ目的ヲ達成スル上ニ良イ事デアリマスレバ是ハ少シモ躊躇ナク、ソレガ一步々小サナ改善デアル場合モアリマセウシ、一大飛躍ヲスルヤウナ場合モ改善ヲ致シテ居ル積リデアリマス、決シテ醫藥分業ト云フ事ヲ等閑ニ付シテ居ルト云

ト思ヒマス、私共ハ此非常ナ多數ノ勞働者

フノデアアリマセヌ、我ミガ健康保険ノ目的ヲ達成スル上ニ必要ナル研究ヲ致シテ居リマスル上カラ、此醫師ノ制度、藥劑師ノ制度ト云フコトニモ觸レテ、固ヨリ考究ハ致スノデアリマスルガ、茲ニ一ツノ原則ヲ立テテ醫藥分業ダ、是ハドウダト云フ斯ウ云フ御話デアリマスルガ、是ハ現在ノ所ハ健康保險ダケデアリハレ難イ、斯ウ云フ風ニ申上ゲテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、決シテ一時逃レヲ致シテ居ル次第デハゴザイマセヌ、必要ナル改善ニ付キマシテハ、是ハ斷行イタス積リヲ以チマシテ、始終先般來他ノ政府委員カラモ申上ゲマシタヤウニ、考究ヲ重ネテ居ル次第デアリマス、此點ハ十分一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○金岡又左衛門君 只今長官カラ色々御意思ノアル所ヲ承リマシテ、其成ルベク健康保險法ノ立前トシテ、詰リ被保險者ニ、値段ハ幾ラ高クテモ構ハヌカラ良イ治療ヲシタイ、良イ藥ヲ欲シイト云フ方ノ是ハ例デナイカラシテ、値段モ構ハズヤルト云フ譯ニハ行カナイノデアアッテ、其點ハ安クテ良イ治療ヲシテ、安クテ良イ藥ヲ與ヘテ貰ヒタイト云フ方針デ、醫師會ガ斯様ニ御願ヒシテ居ルト云フコトモ先程申サレテ居ル、

ソレハ御尤デアリマスルケレドモ、是ハナカナカドウモ政府ニサウ云フ風ニ御願ヒサレル御趣旨ニハドウモナラナイト思ハレル、安クテ良イ物ト云フノハソレハ續クモノデハナイ、殊ニ治療方法ナリ藥ト云フモノニ付キマシテハ、安クテ良イ治療ガ出來ルモノデハナイ、安クテ良イ藥ト云フモノガアルモノデハナイ、初メハソレハ暫クハサウ云フコトハアリマシテモ、是ハ永久性ガナイノデアリマスカラ、サウ云フ點ハ今ヤ疾病ト云フコトニ付テハ、安クテモ宜イカラ、惡イ藥ヲ成ルベク安クシテ呉レト云フコトヲ、病氣ト云フモノニ對シテサウ云フ觀念ヲ持ッテ居ル者ハ今ナイノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テハ成ルベク安ク良イ治療モシ、良イ藥ヲ給シテ貰ヒタイト云フ、サウ云フヤウナ御意思ハ、是ハ根本カラ御考ニナラナケレバイカスト思フ、ソレカラ此差別待遇ハ、是ハ一般ニ於テ分業ハ行ハレテ居ラナイ、單リ健康保險ノミニ於テ藥ハ出セナイト云フコトハ差別待遇ニアラズト仰シヤルガ、是ハ分業制ニスルト云フコトハ何モ惡イコトデナイ、合法的ニ學問上カラ言ヒマシテモ實際的ニ言ヒマシテモ、是ハ合法的ニ出來ル、又ソレヲ希望シテ居ル是ハ良イ方ノ差別待遇ハ決シテ差

支ナイト斯ウモ考ヘテ居リマス、ソレ等ノ點ニ付テ一層御考究ヲ願ヒタイト云フ私ハ希望ヲ申述べタイト思ヒマス

○政府委員(丹羽七郎君) 私ガ申上ゲタ言

葉ガ少シ足りナカッタカト思ヒマスルカラ、只今ノ御話ニ付テモウ一言附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、私共ハ心カラ安クテ良イ治療ヲ被保險者ノ爲ニ得タイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ是ハ自カラ程度ノ問題デ、醫師ダカラト云ウテ赤字ヲ忍ンデヤッテ貰フト云フ譯ニハ參リマセヌカラ、其處ハ最モ適當ナ程度ヲ合理的ニヤルト云フコトシカナイト思ヒマス、併ナガラ根本的ノ考ヘ方ハ、成ルベク費用ノ掛カラナイデ良イ診療ノ出來ル、斯ウ云フコトヲ望ンデ居ル次第デアリマス、併シ今日ノ制度ヲ執ッテ居リマスル所以ハ、其點ノミデナク、色々被保險者ノ便宜ト云フヤウナコト、保險經濟ト云フヤウナ各種ノ事項ヲ考慮イタシマシテ今日ノ結論ガ出テ居ルコトハ、先程カラ續々申述べタ通りデゴザイマス、又被保險者ダケガ差別待遇ヲ受ケルト云フコトニ付テハ、良イ差別ナラ宜イデハナイカト云フ御話デ、誠ニ私モ良イコトナレバ差別シテモ宜カラウト思ヒマスルガ、併シ強制ヲシテ、嫌ガルノニト

云フコトニナルト、一寸ソコハ一般ト違ヘルコトニ付テ、十分慎重ニ考慮シナケレバナラヌト思ヒマス、今日デハ被保險者ノ方ガ進ンデ藥劑師ニ付テ藥ガ貰ヒタイト云フコトデアレバ、其途ハ十分開ケテ居ルノデゴザイマスカラ、其點ハ只今御述べノ御希望ニ付キマシテハ、私共モ十分參考ニ致シ、考慮ヲ致ス考デ居ルコトハ勿論デアリマスルガ、私ガ申上ゲタ點ガ多少足りナカッタカト思ヒマスルカラ、附加ヘテ御答ヲ致シテ置ク次第デアリマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 大臣ハ本日ハ

臨席御困難ナコトニ承リマシタカラ、金岡君ノ御質問ハ留保サレマシテ、更ニ明日午前十時ヨリ開會イタシ、時間ガアリマシタナラバ、癩兵院ノ法案ニ移リタイト存ジマスガ、豫メ申上ゲテ置キマス、是ニテ散會イタシマス

午前十一時四十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵松本 宗隆君
副委員長 男爵松尾 義夫君
委員 公爵島津 忠承君
子爵梅園 篤彦君
川崎 卓吉君

金杉英五郎君

平尾喜三郎君

金岡又左衛門君

政府委員

社會局長官 丹羽 七郎君

社會局部長 川西 實三君

昭和九年三月十二日印刷

昭和九年三月十三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局